

福岡県子どもエコクラブ通信 vol.7

【発行】
子どもエコクラブ福岡県事務局(福岡県環境部環境政策課内)
【発行日】
平成30年3月30日
【お問い合わせ先】
Tel 092-643-3355 FAX 092-643-3357
Mail Kansei@pref.fukuoka.lg.jp



「継続届」提出のお願い！！

平成30年度も継続して活動するクラブは、「継続届」の提出が必要となります。

現在加入している保険の対象期間は3月までとなっており、継続したクラブのメンバー全員に「メンバーズバッジ」が、幼児には「ぼくの・わたしのエコクラブカード」が順次発送されます。

なお、平成29年度から、「メンバー手帳」及び「応援マニュアル」は希望するクラブに対して各冊子1冊100円(送料込み)の実費頒布となり、希望するクラブは継続届に必要部数を記入する必要があります。

30年度も皆さまと一緒に福岡県のクラブの環境活動を見守り、福岡県事務局としてサポートをさせていただきます。

★継続届提出方法★

子どもエコクラブ全国事務局が発行しているニュースレター内の継続届に御記入後、「子どもエコクラブ全国事務局(公益財団法人日本環境協会)」に御提出ください。Webサイトからも簡単にお手続きできます。

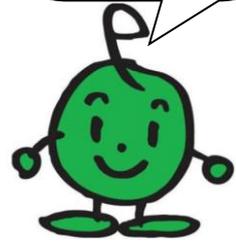
※継続届は念のため同封しております。

- ① 郵送の場合：〒103-0002 東京都中央区馬喰町
1-4-16 馬喰町第一ビル9F
- ② FAXの場合：03-5643-6250
- ③ メールの場合：j-ecoclub@eic.or.jp
- ④ 全国事務局ホームページから直接入力

： https://www.j-ecoclub.jp/club_entry/

※「継続届」は、子どもエコクラブウェブサイトでもダウンロードすることができます。

みんなの登録
待ってるよ！



子どもエコクラブ
イメージキャラクター
エコまる

福岡県事務局に

提出してもいい♪



福岡県広報部長
エコトン

<子どもエコクラブホームページトップ>



○ サポーターの方へ

- ▶ 子どもエコクラブ JEC登録用紙
- ▶ 子どもエコクラブ変更・解散届
- ▶ 子どもエコクラブ継続届H29→H30
- ▶ メンバー手帳(表紙) ▶ メンバー手帳(本編)
- ▶ 子どもエコクラブ応援マニュアル
- ▶ ぼくの/わたしのエコカード
- ▶ ミーティング記録シート
- ▶ 取材メモ
- ▶ 子どもエコクラブ注文書
- ▶ 活動報告用紙
- ▶ H29年度アースレンジャー認定証申込用紙
- ▶ 「全国エコ活コンクール」壁新聞・絵日記の応募用紙等は[こちら](#)

様式をダウンロード
する場合

④全国事務局ホームページから直接入力する場合



今年度も協賛企業(イオン九州(株)、マックスバリュ九州(株))から御支援いただきました！

●イオン九州株式会社

9月5日にイオン九州(株)の川村泰平西福岡事業部長に福岡県庁にお越しいただき、寄附金の贈呈式を執り行いました。(※1)

寄附については、今年で4回目となります。いただいた寄附金は平成30年度のこどもエコクラブ事業として、イベント等に活用する予定です。

なお、昨年度いただいた寄附金は、今年度、次頁以降の「京築生きもの探検隊」及び「体験ツアーin 筑後」に活用させていただきました。

※1 この寄附金は、レジ袋無料配布中止に伴う有料レジ袋収益金を地域の環境保全活動に役立てることを目的として寄附いただいたものです。

【贈呈式の様子】



今年度は行橋市・みやこ町(京築生きもの探検隊)と筑後市・大木町(体験ツアーin 筑後)で環境イベントを行って、みんなで楽しみながら学習したっ！
来年度のイベントが、今から楽しみだね♪



●マックスバリュ九州株式会社

3月29日にマックスバリュ九州(株)の佐々木勉代表取締役社長に福岡県庁にお越しいただき、寄贈品贈呈式を執り行いました。(※2)今年度は、福岡県で活動しているこどもエコクラブに、木の実ペンダント工作セット(幼児中心のクラブ)、顕微鏡(小学生以上中心のクラブ)、図鑑、ノートなど、クラブの年齢に応じた物品を寄贈していただきました。

寄贈については、今回で12回目となります。いただいた物品については、10月末までに登録した福岡県内の各クラブのサポーター様のもとへ順次発送させていただきます。

※2 この物品の寄贈は、イオングループが実施している「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン(※3)」の取組みの一環として、マックスバリュ九州(株)がこどもエコクラブへ寄贈を行っているものです。

※3 マックスバリュ九州(株)を含むイオングループでは、毎月11日の「イオン・デー」に、「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施し、発行された黄色のレシートを顧客が店内の専用ボックスに投函し、レシートの合計金額の1%に相当する物品を地域のボランティア団体等へ寄贈しているものです。

【贈呈式の様子】



【寄贈物品】



色んな活動に使ってね！
活用している様子を是非全国事務局に報告して、ホームページ載せてほしいっ！
マックスバリュ九州さんもきっと嬉しいと思うよ★





今年度も全国エコ活コンクール(壁新聞・絵日記)に たくさんの御応募をいただきました!

今年も、日頃のエコ活動をまとめた壁新聞や絵日記に県内クラブからたくさんの応募がありました。

壁新聞部門において、福岡県からはエコまめクラブさんが代表クラブとなり、全国事務局が主催している「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に参加し、全国各地のクラブと交流を行いました。

<応募のあった壁新聞を各クラブ1枚ずつ御紹介>

【エコまめクラブ】
～こん虫ひょう本を作ろう!～



【ガールスカウト F9 クラブ】
～川から始まる Story～



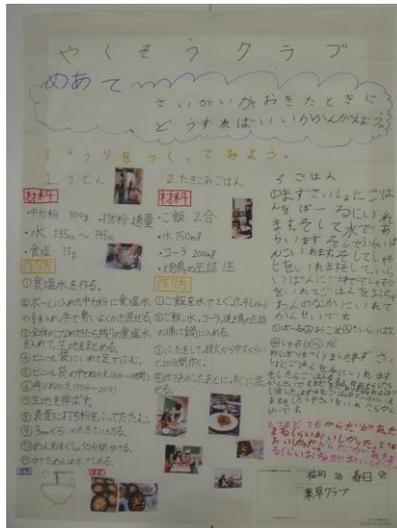
【緑ヶ丘エコクラブ】
～緑ヶ丘エコクラブ新聞～



【若松イオンチアースクラブ】
～かっぱ隊が行く 2017～



【薬草クラブ】
～災害を仮定したエコクッキング～



【羽木東区寺小屋(家庭塾)エコクラブ】
～寺小屋かべしんぶん～



どの作品も力作だね!!
一年間の活動をふりかえって、新しいことが発見できるかもしれない!!
来年もみんなもエコクラブに継続登録して、楽しみながら活動した様子を、来年のコンクールにぜひ応募しよう♪





福岡県事務局と京築地区地域環境協議会連携イベント 「こどもエコクラブ 京築生きもの探検隊」

8月24日に行橋市及びみやこ町を流れる「祓川の上流・中流・河口干潟の3つの地点」において、水生生物調査等を行い、51名に参加いただきました。

日頃はなかなか行くことのできない自然の中で川遊びを行いながら、それぞれの地点で見ることのできない生き物等を講師の解説を聞きながら、「水辺の水生生物チェックシート（水質について調査します。）」と「福岡県の淡水魚チェックシート（川の環境の豊かさを調べます。）」の2種類のシートを使って、観察しました。

上流域

サワガニやヤマメなどの生き物が観察でき、水辺の水生生物チェックシートでは平均スコアが約4.4、福岡の淡水魚チェックシートでは平均スコアが約3.3となり、水質はとてもきれいで、とても豊かな自然が残る環境であることがわかりました。

【生き物を探している様子】



【解説を聞いている様子】



中流域

絶滅危惧種のとノサマガエルや準絶滅危惧種のおヤニラミなどの生き物が観察でき、水辺の水生生物チェックシートでは平均スコアが約4.3、福岡の淡水魚チェックシートでは平均スコアが約3.3となり、水質はとてもきれいで、とても豊かな自然が残る環境であることがわかりました。

【調査方法を聞いている様子】



【とノサマガエル】



河口干潟

河口は海水が混じっているため、チェックシートは使わずに観察を行いました。

絶滅危惧種のにホンウナギ、オカミミガイや準絶滅危惧種のウミナミなどの生き物が観察できました。

【生き物を探している様子】



【にホンウナギ】



自然の中で川遊びを行いながら、講師の話聞きながら、さまざまな生き物を観察できて、参加した子どもたちはとても楽しそうな様子でした。

くたくたになるまで遊んだ子どもたちからは「楽しかった！来年も参加したい！」という嬉しい声をきくこともできました。

御参加いただいた皆様、御協力をいただいた関係者の方々、本当にありがとうございました。

同じ川でも場所によって見られる生き物は違うんだね！初めて知ったん！！
珍しい生き物もたくさんいるんだね！
川遊びだけじゃなくて、生物調査もできるなんて、とても楽しかったよ〜♪





福岡県事務局主催イベント 「こどもエコクラブ 体験ツアー in 筑後..」

3月29日に筑後市大字津島にある「福岡県営筑後広域公園」で野鳥観察会を行い、三潴郡大木町大字横溝にある「おおき循環センターくるるん」で施設見学を行い、22名に参加いただきました。

野鳥観察会では、日本野鳥の会筑後支部の方に講師になっていただき、野鳥の鳴き声を聴き、見つけた鳥を双眼鏡や望遠鏡で観察し、公園内に咲いている満開の桜を見ながら昼食を摂りました。

また、おおき循環センターくるるんでは、大木町の取組について説明を受け、普段燃えるごみとして捨てているものの中にも、リサイクルできるものがたくさんあることを学びました。

福岡県営筑後広域公園（野鳥観察会）

オオバンやホオジロ、ヒクイナなどいろいろな種類の野鳥を観察できました。

【野鳥観察の様子】



講師の先生が見つけた鳥を観察するだけでなく、参加者自らが探した野鳥について、講師の先生に詳しく確認していました。

【満開の桜を見ながら昼食を摂っている様子】



講師の先生からは、観察した鳥の名前だけでなく、名前の由来やその鳥の特徴を説明していただきました。

おおき循環センターくるるん（施設見学）

日頃出しているごみについて、分別方法（燃える、燃えない、再資源）がどのように大木町と違うかチェックしながら学びました。

【大木町の取組について聞いている様子】



大木町の分別は種類が多く、きちんと分別すれば、再び資源となることにみんな驚いている様子でした。

【メタン発酵施設を見学している様子】



メタン発酵施設についても見学を行い、液肥になる過程も学びました。

参加者から、野鳥観察会では「いろいろな鳥が見れてとても楽しかった。飛び方や模様が名前由来になっていた。」、くるるんの施設見学では「今まで燃えるごみだと思っていた中に、まだまだリサイクルできるものがたくさんあって、びっくりした。」といった感想があり、とても楽しそうな様子で、今後環境にやさしい行動をしていきたいと考えていただけました。

いろいろな鳥がいて、特徴もそれぞれあったし、きちんと分別すれば、資源になるものが多いね！ほくももっと環境にやさしい行動をやっていくぞ〜♪



編集者より

1年間のこどもエコクラブ活動お疲れさまでした。今年度はどのようなエコ活動をしてきましたか？そのひとつひとつが皆さんの力や思い出になっていけば、とても嬉しいです。活動を行ったら、ぜひ全国事務局又は県事務局まで報告してください。全国事務局のホームページに活動状況を掲載して、ほかのクラブにみてもらいましょう！

継続届を是非提出し、4月からも楽しくエコ活動続けてくださいね！

掲載している活動については、活動後に県のホームページにも掲載していますので、下記URLからご参照ください。

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/jec.html>